

## II. 直近の5事業年度における主要な事業の状況

### 【主な経営指標の推移】

(単位：百万円)

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
利 益	経 常 収 益	10,274	10,122	10,086	10,183	11,796
	業 務 純 益	1,634	1,669	1,660	1,267	664
	経 常 利 益	1,419	1,461	1,497	1,539	1,843
	当 期 純 利 益	798	1,007	1,001	1,123	1,351
出 資 金	出 資 総 額	1,052	1,051	1,054	1,062	1,065
	出 資 総 口 数 (千口)	21,044	21,023	21,096	21,246	21,307
資 産 額	総 資 産 額	833,010	976,993	1,011,205	980,485	1,014,631
	純 資 産 額	51,042	54,632	50,548	41,547	41,957
残 高	預 金 積 金 残 高	778,239	881,829	918,630	935,540	968,647
	貸 出 金 残 高	296,636	318,365	314,196	320,512	341,639
	有 価 証 券 残 高	287,950	320,197	340,391	278,137	263,882
単 体 自 己 資 本 比 率 ( % )		15.95	16.04	15.61	14.79	15.67
出 資 対 する 配 当 金 (円 / 1口)		3	3	3	3	3
会 員 ・ 役 職 員 数	会 員 数 (人)	32,135	31,907	32,034	32,294	32,471
	職 員 数 (人)	629	621	597	586	590
	役 員 数 (人)	15	14	14	15	15
	う ち 常 勤 役 員 数 (人)	11	11	11	11	11

## III. 直近の2事業年度における事業の状況

### 【主要な業務の状況を示す指標】

#### ●業務粗利益

(単位：千円、%)

	2022年度	2023年度
資 金 運 用 収 支	8,402,885	9,025,835
資 金 運 用 収 益	8,508,152	9,129,480
資 金 調 達 費 用	105,266	103,645
役 務 取 引 等 収 支	180,655	142,409
役 務 取 引 等 収 益	1,072,188	1,103,471
役 務 取 引 等 費 用	891,533	961,061
そ の 他 業 務 収 支	△696,863	△1,352,370
そ の 他 業 務 収 益	177,694	298,770
そ の 他 業 務 費 用	874,557	1,651,141
業 務 粗 利 益	7,886,677	7,815,874
業 務 粗 利 益 率	0.80	0.78

(注)業務粗利益率 =  $\frac{\text{業務粗利益}}{\text{資金運用勘定平均残高}} \times 100$

#### ●業務純益

(単位：千円)

	2022年度	2023年度
業 務 純 益	1,267,709	664,176
実 質 業 務 純 益	1,267,709	707,298
コ ア 業 務 純 益	2,098,878	2,342,075
コ ア 業 務 純 益 (投資信託解約損益を除く)	2,094,950	2,314,778

注)1. 業務純益=業務収益-(業務費用-金銭の信託運用見合費用)

業務費用には、例えば人件費のうちの役員賞与等のような臨時的な経費等を含まないこととしています。また、貸倒引当金繰入額が全体として繰入超過の場合、一般貸倒引当金繰入額(または取崩額)を含みます。

2. 実質業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額

実質業務純益は、業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。

3. コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

国債等債券損益は、国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却を通算した損益です。